

# 令和7年第5回（5月）袖ヶ浦市教育委員会定例会議事録

- 1 開催日時 令和7年5月28日（水） 午後2時15分開会  
午後2時42分閉会

- 2 開催場所 市役所北庁舎3階会議室3-2

- 3 出席者

|     |       |          |       |
|-----|-------|----------|-------|
| 教育長 | 鴫田 道雄 | 教育長職務代理者 | 中村 伸子 |
| 委 員 | 高野 隆晃 | 委 員      | 若林 洋子 |
| 委 員 | 石井 正己 |          |       |

- 4 出席職員

|                   |        |                   |        |
|-------------------|--------|-------------------|--------|
| 教育部長              | 高浦 正充  | 教育部次長<br>(教育総務課長) | 近藤 英明  |
| 教育部参事<br>(学校教育課長) | 鈴木 大介  | 生涯学習課長            | 長谷川 秀明 |
| スポーツ振興課長          | 大久保 治彦 | 中央図書館長            | 柏木 喜男  |
| 市民会館長             | 島田 宏之  | 教育総務課副参事          | 浦邊 宜文  |
| 教育総務課<br>総務庶務班長   | 柴崎 美奈  |                   |        |

- 5 傍聴定員と傍聴人数

|      |    |
|------|----|
| 傍聴定員 | 5人 |
| 傍聴人数 | 0人 |

- 6 議 題

日程第1 前回会議録の承認について

日程第2 今回会議録署名人の選出について

日程第3 教育長・教育部長報告

日程第4 議案

## 議案第 1 号 袖ヶ浦市教育委員会職員の人事異動について

### 日程第 5 報告

報告第 1 号 臨時代理の報告について（袖ヶ浦市部活動地域移行協議会委員の委嘱について）

### 日程第 6 その他報告

（1）令和 6 年度袖ヶ浦市図書館資料の蔵書状況について

## 7 議 事

### 日程第 1 前回会議録の承認について

（教育長）

令和 7 年第 4 回袖ヶ浦市教育委員会定例会の会議録の承認について、賛成の挙手を求めます。

（教育長）

賛成全員で承認されました。

### 日程第 2 今回会議録署名人の選出について

（教育長）

石井正己委員を指名します。

### 日程第 3 教育長・教育部長報告

（教育長）

4 月 1 8 日に千葉県都市教育長協議会定期総会が、千葉みなとのホテルポートプラザちばにて開催されました。協議会の対象は市となり、町と村の教育長はいらっしゃいません。先日開催された千葉県市町村教育委員会連絡協議会は千葉県全体の会議で、別の組織となります。

今回、千葉県都市教育長協議会の令和 7 年度から 9 年度の役職が君津地域に回り、会長を木更津市の廣部教育長が務めるということで可決承認されました。

3 年間は長いですが、応援したいと思いますので、よろしくお願いいたします。

(教育部長)

5月10日、今年度の市原袖ヶ浦少年少女発明クラブの開講式がありました。今年度は全体で67名の児童生徒のうち、袖ヶ浦市が29名参加しておりました。袖ヶ浦市の29名の内訳は、小学生が26名、中学生が3名で、悪天候ということで体育館の中で開講式を行いました。

(教育長)

5月15日に第1回文化財審議会がございました。

今回は、永吉台遺跡群出土の古代文字及び信仰関連資料群の指定についてということで、今のドイツ村辺りの発掘調査をしているところです。そこから縄文後期の土器などの古代文字の書かれた木簡などが多数出土しました。これらを昨年度から検討していただき、今回、市の指定文化財にすることの答申を受けたところでございます。

更に、千手観音菩薩立像や妙見菩薩立像の指定について、今年度文化財審議会に諮問をいたしまして、これから調査をしていただき、来年度あたり、市の指定文化財としてふさわしいかどうかの答申をいただくところでございます。

(教育部長)

5月16日金曜日に、今年度第1回目の公民館運営審議会が開会されました。内容につきましては、昨年度の実施結果の報告、また今年度の事業計画等について審議されました。

(教育長)

教育長・教育部長報告について、何か質問があればお願いいたします。

はい、高野委員。

(高野委員)

2つほど伺いたいします。千葉県都市教育長協議会には千葉市も入りますか。

(教育長)

千葉市は入りません。

(高野委員)

わかりました。

それから、5月15日の文化財審議会の議題(3)と(4)の千手観音菩薩立像や妙見菩薩立像ですが、どこのお寺が所有しているのでしょうか。

(生涯学習課長)

両方とも光福寺です。

(教育長)

当日の会議終了後、委員の皆さんに光福寺で実際に見ていただきました。これから詳しく全体調査等を行い来年度に答申をいただくことになっています。

(高野委員)

ありがとうございます。

## 日程第6 その他報告

### (1) 令和6年度末袖ヶ浦市立図書館資料の蔵書状況について

(教育長)

その他報告(1)について事務局の説明を求めます。

(中央図書館長)

18ページをご覧ください。図書館では、図書館資料の収集と除籍を適正に行うとともに、蔵書点検を定期的実施し、資料の整理と保存に努めております。

蔵書点検につきましては、昨年12月から今年1月にかけての先行処理を含め、年度末の2月末から3月初旬にかけての臨時休館等を行い、全館約77万点の所蔵資料について、専用バーコードリーダーで全ての資料の読み取り、サーバーへ落とし込みを行った後、不明資料の所在確認を行いました。その結果を含めた蔵書状況を報告いたします。

令和6年度の図書館資料受払状況につきましては、(1) 図書蔵書資料が、一般書8,896冊を受け入れ、8,932冊を除籍、差し引きして全体で55万6,674冊、また児童書として1,764冊を受け入れ、1,670冊を除籍、差し引き16万8,467冊となり、合計で72万5,141冊となりました。

また、(2) 図書以外の資料は、2,144点を受け入れ、1,839点を除籍したことにより、差し引き4万4,467点となりました。

よって、図書資料と図書資料以外を含めた図書館資料総合計は、表1のとおり76万9,608点となりました。

次ページをご覧ください。この蔵書点検により令和6年度不明資料でございますが、(1) 不明資料の状況は、防犯カメラ設置等の取組等により、令和3年度不明資料は37点にまで減少しましたが、令和5年度には296点と再び大幅に増加したことから、不明資料の一覧を書架に提示し、不審な行動を見かけた場合は職員に通報するようお願いする警告・啓発ポスターを掲示した結果、今回の蔵書点検では不明資料が表2の通り75点と、前年度比で221点減少しました。

これらの不明資料対策につきましては、(2) 不明資料対策に記載されております①から④などの対策を図り、不明資料の削減に繋がるよう努めてまいりました。

さらに、令和5年度の蔵書点検後には、不審な行動を見かけた場合は、職員に通報するようお願いするポスターを書架に提示しました。これにより、令和6年度の蔵書点検では、令和5年度に特徴的だった特定のジャンルの本が大量に不明になる事態はなくなりました。

今後も職員間でアイディアを出し合い、不明資料の更なる削減に向けて努力してまいります。

(教育長)

委員に質疑を求めます。

(中村委員)

いろいろな努力をしてくださって、不明資料が大変減っているのはとても有難いと思います。不明本が出ないように、工夫して対応していくのは大変だと思いますが、今後もよろしくお願ひしたいと思います。

2点質問です。不明資料対策の中に「不明になりやすい特定の作家の小説は事務室等で管理する」とありますが、一つ目は、どんな作家が対象なのかということ。

もう一つは、事務室で管理するということは、該当する分類の棚にはないということだと思いますが、利用者が検索した時にその本が書架ではなく事務室にあるということがわかるように表示されているかということ。この2点を教えてください。

(中央図書館長)

まず、特定の作家ですが、内田康夫氏という西村京太郎氏と同じようなミステリー作家で、火曜サスペンス劇場の浅見光彦シリーズの作家だそうです。

書架に行くと、内田康夫氏の本は事務室にあるのでカウンターでお伝えくださいというような掲示があります。

もう一つは、パソコンで検索される方がほとんどですので、その際は事務室に保管してありますという案内を行っております。

長浦図書館については書庫に保管してあります。なぜかという、元図書館長に聞いたところ、長浦図書館にいた頃に、開架書庫に出しても大丈夫だと思って出したところ、またすぐになくなってしまったことがあったからだそうです。そのため、長浦図書館では必ず書庫に保管しているので、カウンターで声をかけてくださいというようにわかりやすくなっております。

(中村委員)

わかりました。ありがとうございます。

(教育長)

その他ございますか。

はい、高野委員。

(高野委員)

今の関連で、令和5年度の不明資料296点、令和6年度では75点と、前年度と比較して221点減少ということですが、この75点は新たな不明資料ですか。累計分も入っていますか。

(中央図書館長)

令和6年度末で、新たに不明となってなったものが75点です。

(高野委員)

去年まで見つからなかった資料は見つかりましたか。

(中央図書館長)

10数点自然に返ってきているようですが、まだわからないままです。

(高野委員)

行方不明の資料というのは、累積すると結構な数になりますか。

(中央図書館長)

今までの大体50から60点位で、令和5年度が少し増えましたので、その分が累積されています。

去年は、お腹周りに袋等を抱えて帰る怪しい人がいたようです。また、晴れている日にカッパを着てフードを被った人がいて、職員が声かけをしたことがあります。声かけをしたと思われる人から生涯学習課へ苦情が入ったという話ですが、その後、その人は来ていないようで、来館した場合は私に連絡が来ることになっています。

不審な方がいる場合は、後ろを歩いていくなど、私もパトロールをしたりとそれぞれ分担しています。

(高野委員)

令和6年度の75点とは、どういうジャンルですか。

(中央図書館長)

リストもありますが、各分野にわたっておりますが、歴史物や戦国物がなくなっていることが多いです。

(高野委員)

それはなぜわかるのですか。誰かが借りようとした際に、ないことがわかるのでしょうか。

(中央図書館長)

パソコンで全て管理しています。

(教育長)

蔵書と現有数と貸し出し数の差し引きをします。

(中央図書館長)

パソコンで一覧を確認できます。

(高野委員)

点検は月に1回ですか。

(教育長)

年に1回です。

(高野委員)

それで分かるのですね。ただ、いつなくなったかがわからないのですね。

(中央図書館長)

その通りです。

(教育長)

棚卸と一緒にです。

(高野委員)

はい、なるほど。

以上

※ 次の案件につきましては、袖ヶ浦市教育委員会会議規則第13条第1項第1号に該当するため、非公開となります。

- ・ 日程第4 議案第1号
- ・ 日程第5 報告第1号